

平成 27 年度

事業報告書

公益財団法人 北海道生涯学習協会

平成27年度事業報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日)

1 会務の状況

◇ 理事会・評議員会の開催状況

(1) 第1回理事会

- と き 平成27年5月26日
- ところ かでる2・7 10階 1030会議室
- 理事会の内容
 - ・平成26年度事業報告
 - ・平成26年度収支決算及び監査報告
 - ・定時評議員会の招集
 - ・人事案件（報告）① 監事の補充選任
② 評議員の補充選任

(2) 第1回評議員会

- と き 平成27年6月16日
- ところ かでる2・7 9階 940会議室
- 評議員会の内容
 - ・平成26年度事業報告
 - ・平成26年度収支決算及び監査報告
 - ・人事案件 ① 監事の補充選任
② 評議員の補充選任

(3) 第2回理事会

- と き 平成27年10月20日
- ところ かでる2・7 10階 1020会議室
- 理事会の内容
 - ・会長及び専務理事の職務執行状況報告
 - ・生涯学習実践者表彰規程の制定

(4) 第3回理事会

- と き 平成28年3月10日
- ところ かでる2・7 9階 940会議室
- 理事会の内容
 - ・平成28年度事業計画
 - ・平成28年度収支予算
 - ・臨時評議員会の招集
 - ・会長及び専務理事の職務執行状況報告
 - ・人事案件（報告）①監事の補充選任

(5) 臨時評議員会

- と き 平成28年3月25日
- ところ かでる2・7 9階 940会議室
- 評議員会の内容
 - ・平成28年度事業計画（報告）
 - ・平成28年度収支予算（報告）
 - ・人事案件 ①監事の補充選任

◇ 会計業務等監査の実施

- と き 平成28年4月26日
- ところ かでる2・7 9F 団体会議室
- 内 容 ① 会計処理について
 - ・関係帳簿及び関係帳票並びにその他関係書類の閲覧を行い、会計の状況を監査
 - ・財産目録をはじめ、関係書類の閲覧を行い、財産の管理運用について監査
- ② 業務執行について
 - ・理事会等に出席し、業務の執行状況を聴取するとともに、関係書類の閲覧を行い、業務執行の状況を監査

2 事業の実施状況

(1) 生きがいつくり生涯学習促進事業【道補助事業】

国際化、高齢化、情報化等社会の変化に対応し、生涯にわたって生きがいのある人生を送るために「生きることは学ぶこと」の視点から、道民に学習の機会を提供するため、全道7会場で講演会やバズセッション等を開催した。

市町村名	開催日	テーマ及び講師	参加者数
南幌町	9/9	高齢者の健康の維持と管理 北海道文教大学人間科学部教授・ 日本健康太極拳協会師範 佐藤 登代子	40
滝上町	9/30	人生を共に豊かに過ごすために とうまスポーツクラブ事務局長 上野 和香子	196
本別町	10/2	元気シニアの生きがいと健康づくり 健康生きがいつくりアドバイザー北海道養成講座講師 窪田 稔	101
標津町	11/9	元気でいることは社会貢献 札幌医科大学名誉教授・北星学園大学特任教授 武田秀勝	40
木古内町	11/28	地域活性化について NPO 法人 ezorock 代表理事 草野 竹史	55
東神楽町	12/20	知恵と原資を持つシニア世代に地域活動の参加を 好齢ビジネスパートナーズ世話人 堀池 喜一郎	69
新ひだか町	2/9	人生を共に豊かに過ごすために 札幌交響楽団コンサートマスター 大平 まゆみ	130

(2) 広報誌発行事業【道補助事業】

会員及び生涯学習に関係する機関・団体等に対し、協会の主催事業や関係機関・団体の活動状況など生涯学習に関する情報を提供した。

広報誌名 「ほっかいどう生涯学習」

発行回数 4回 (No. 105～108号)

(3) 「ほっかいどう学」かでの講座事業

「ほっかいどう学」の推進を図るため、かでの講座を開設し、道民への学習機会提供の拡充を図った。

講座回数 10回

開催期日 4月14日(第1回)～12月9日(第10回)

会場 かでの2・7、遠隔学習機利用(苫前町、真狩村、旭川市、浦河町)

受講者数 1,408人

開催日	テーマ及び講師	受講者数
4/14	思わず誰かに話したくなる人体のはなし 札幌医科大学医学部教授 當瀬 規嗣	165
5/19	ニュースの見出しに込めた思い 北海道新聞社編集局編集本部委員 中里 仁	132
6/15	XとYのミステリー～性決定の不思議～ 北海道大学大学院理学研究院准教授 黒岩 麻里	138
7/8	認知症の早期発見と予防～物忘れと認知症の違いは？～ 勤医協中央病院名誉院長 伊古田 俊夫	170
8/31	姿勢から見られるリスク～運動で改善・予防～ パーソナルトレーナー 岩倉 徹也	155
9/8	現代にとって短歌とは～31文字の魅力～ 北海学園大学人文学部教授 田中 綾	130
10/9	伊達市を作った人々～亙理伊達家中とはなに者か？～ 伊達市噴火湾文化研究所学芸員 伊達 元成	114
10/21	日本の伝統楽器～三味線の歴史と楽しみ方～ 和楽器奏者 沖田 鈴軒	97
11/25	心理学から読み解く犯人像～北海道で起こった事件から～ 札幌国際大学人文学部教授 品田 一郎	132
12/9	北海道温泉大図鑑～旅の魅力・宿の魅力・湯の魅力～ 旅行ジャーナリスト 小野寺 淳子	175

(4) 「ほっかいどう学」大学インターネット講座支援事業

広く道民の学習活動を支援するため、大学インターネット講座の補助教材を作成し学習活動への活用を図った。

補助教材作成部数 200冊

発行 11月

(5) 学習成果実践事業

地域づくりや人づくりを担う実践力を育成するため、道内各地で学習活動をしている道民カレッジボランティアが中心となり、これまでの学んだ成果を活かして講座を企画・立案し実施した。

開催地等	内 容	主 管
函館市 (4/25) 参加者数 43名	講演「北海道の山菜とキノコ」 北海道きのこアドバイザーの会 会長 栄坂 貞夫	道民カレッジ道南圏ボランティアの会
帯広市 (12/20) 参加者数 39名	講演「帯広尋常高等小学校卒業の知的芸者 石川啄木の恋人“小奴”物語」 創造心理&安全心理研究所所長 佐藤 文彦	道民カレッジ・フレンズ十勝
札幌市 (2/18) 参加者数 71名	講演「健康でアクティブな生活をおくるために～学びを自分と地域のために活かすコツ～」 北海道医療大学看護福祉学部准教授 長谷川 聡 パネルディスカッション「健康でアクティブな生活と生涯学習」 パネラー 長谷川 聡、熊谷 ゆき、佐々尾 雅志、 佐藤 和夫、丸尾 清一 コーディネーター 宮内 敏文	北海道生涯学習協会 めだかの学校

(6) 「道民カレッジ」ボランティア（カレッジ・ボラ）活動支援事業

道民カレッジの充実を図るため、圏域代表者会議や称号取得者セミナー等を実施し、道民カレッジボランティアの自主的・自発的活動に対し支援した。

(7) ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）事業【道委託事業】

学習ニーズの多様化、高度化に対応するため、学ぶ意志のある道民のすべてを対象とし、産学官が連携して総合的な学習機会を提供するとともに自立した北海道の創造に寄与する人材の育成を図った。

○ 主催講座

① 「ほっかいどう学」大学インターネット講座

インターネットによる動画配信と制作した DVD を市町村や高等学校等に配布し、広く道民に高度な学習機会を提供した。

・レポート数 432通（12月～3月）

回	配信日	テ ー マ	講 師	視聴者数	レポート数
1	11/13	北の電力線を守る ～ロボットを使った画像技術の試み～	北海道情報大学 准教授 藤原孝幸	644	59
2	11/13	子育て支援はなぜ必要か ～母親を取り巻く環境と地域の課題～	北星学園大学 教授 河野和枝	457	53
3	11/13	デザイン思考による問題解決入門 ～新しいアイデアが生まれる環境とは～	北翔大学 准教授 浅井貴也	465	53

4	11/13	「小さくても輝く村」づくり ～西興部村の挑戦～	北海道大学 特任教授 木村 純	862	53
5	11/27	外国曲から始まる日本の学校唱歌 ～リタが歌いマッサンは驚いた?!～	北海道教育大学 准教授 小野亮祐	93	58
6	11/27	蝦夷地での日露の出会い ～緊張と緩和の交渉～	札幌大学 教授 川上 淳	125	51
7	11/27	転ばぬ先の“筋肉” ～骨格筋を鍛えて健康寿命を延ばそう～	北海道医療大学 准教授 宮崎充功	113	54
8	11/27	川が支える北海道の暮らし ～北海道の河川の特徴と歴史～	北海学園大学 教授 余湖典昭	93	51

② 「ほっかいどう学」出前講座（地域活動推進講座）

地域の様々な機関との協働を進めるために必要なコミュニケーションスキルの向上を図る学習プログラムにより、地域活動やまちづくりに貢献する人材を育成することを目的に連続した講座を実施した。

□道北圏

- ・会 場 南富良野町
- ・対 象 者 高齢者層
- ・参加人数 延べ 165人
- ・実施回数 5回

□道南圏

- ・会 場 江差町
- ・対 象 者 成人層
- ・参加人数 延べ 50人
- ・実施回数 5回

○連携講座

道民カレッジに賛同する道内の市町村、高等教育機関、専修各種学校、各種団体、民間教育事業者等で開催されている講座を体系化し、前期・後期併せて3, 224講座を連携講座に指定した。

○普及啓発情報提供

① 印刷物の作成

- 「道民カレッジ」ポスター (3月 1, 500枚)
- 「道民カレッジ」リーフレット (3月 20, 000部)
- 「道民カレッジ」ガイドブック (9月・3月 前・後期 各19, 000部)
- 「道民カレッジ」だより (9月・3月 各3, 500部)
- 「大学インターネット講座」チラシ (8月 20, 000部)

- ② 道民カレッジホームページを活用し広く生涯学習に関する情報等を提供した。
また、ツイッターを活用し、情報発信を行った。

○道民カレッジ学生数及び称号取得者数

① 学生数 27,850人 (前年度比 991人増)

② 称号取得者数 (実人数 384人)

・学士 792人 ・修士 559人 ・博士 452人 合計 1,803人
 ・学長奨励賞 154人 1,000単位 92人 2,000単位 38人
 3,000単位 13人 4,000単位 4人
 5,000単位 4人 6,000単位 2人
 7,000単位 1人 8,000単位 1人
 9,000単位 1人 10,000単位 1人

(8) 生涯学習情報資料の展示・提供事業 (まなびの広場) 【道委託事業】

生涯学習に関する図書・資料等の印刷物を展示し、道内市町村・団体の生涯学習への取り組みや成果等を紹介した。

○生涯学習情報資料の展示・提供

生涯学習情報資料コーナーを「まなびの広場」内に設置し、大学や専修学校等で開催する公開講座などのパンフレットを展示し、道民カレッジとリンクした生涯学習情報を提供した。

○インターネットを活用した学習情報の提供

大学インターネット講座や道民カレッジ連携講座の情報を当協会のホームページから検索できるように設定し、学習者のニーズに対応した。

○ふるさとコーナーでの各市町村の広報誌・パンフレットの展示

ふるさとコーナーを「まなびの広場」内に設置し、広報誌や各種パンフレットを展示し道内各市町村の様々な情報提供を行った。

○生涯学習関係団体等の活動紹介及び発表の場の提供

「まなびの広場」の展示スペースを活用し、道内各地で活動している生涯学習関係団体の実践内容を紹介したり作品等を発表する場の提供を行った。

月	団 体 名	展 示 テ ー マ(内容)
4	北海道文化財保護協会	活動の概要、北海道志に描かれた文化財
	ULA ビーズ織工房・ときめき織	ときめきビーズ織
5	石狩市 いしかり市民カレッジ	「いしかり市民カレッジ」で学びませんか?
6	北海道立青少年教育施設	ネイパル展
7	(一社) ガールスカウト北海道連盟)	ガールスカウト北海道連盟結成 50 周年記念
8	札幌ユネスコ協会	ユネスコまなびの広場展～ユネスコを知ろう～
9	国立大雪青少年交流の家	国立大雪青少年の家 初回パネル展
	大学インターネット講座実行委員会	参加大学及び講座担当講師の紹介
10	「さっぽろ植物画同好会」かでの教室	四季の植物を描く ボタニカルアート展
	パッチワークキルト もめんオブファミリー	手作りの四季～一針に真心をこめて～
11	北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課	読書週間「秋」のおすすめ書籍展～
	健康友の会絵画サークルたんぽぽ	身近な自然 風景を楽しんで
12	北海道立特別支援教育センター	特別支援学校作品展

1	(公財) 北海道生涯学習協会	かでの講座の歩み
2	北海道心の教育推進会議	心の教育キャンペーン強調月間展
3	写真集団はまなす	平成 27 年度写真集団はまなす写真展

(9) 視聴覚教材貸出事業【道委託事業】

市町村及び関係機関・団体に対し、学習活動に必要な視聴覚教材の貸出を行った。

・貸出件数 296件 ・貸出本数 505本 ・視聴人数 8,246人

(10) 北海道スポーツ推進委員協議会事務局業務の受託

道内のスポーツ推進委員の資質向上と機能の充実を目的としている協議会の事務局業務を行った。